健康経営:女性の健康保持・増進

乳がんで命を奪われないために

乳がんは乳腺の組織にできる悪性腫瘍のことをいい、女性がかかるがんの 1 位で、日本人女性の 9 人に 1 人がかかってしまうといわれています。ですが、乳がんは早期に発見し適切な治療をうければ 治りやすいがんで、初期の乳がん(ステージ 1)の 5 年生存率は、98%以上です。早期に発見し治療につなげることが、 '乳がんに命を奪われないために' 非常に大切です。

早期に発見、治療につなげるために、自分の体に関心をもつ生活習慣についてご紹介します。

ブレスト・アウェアネス

ブレスト・アウェアネスとは、「乳房を意識する生活習慣」の事をいいます。

日頃から自分の乳房に関心をもち、意識することを生活習慣し、正しい受診行動を身につけることで、乳がんの早期発見・治療につなげようというものです。

日常生活の一部に、取り入れてはいかがでしょうか。

具体的には、日ごろの生活の中で4つのことを行います。

- 1. 自分の乳房の状態を知る
 - 入浴、着替えの時、乳房を見て・触って、<u>胸に関心を持つ習慣を身に付け</u>、いつもの乳房の 状態を知っておきましょう。
- 2. 乳房の変化に気をつける
 - 普段の乳房の状態を知っているからこそ、変化に気付けます。
 - 心配なところを見つけようではなく、「いつもと変わりはないかな?」という気持ちで、<u>変化が</u>ないか確認する習慣を身につけましょう。
- 3. 変化に気付いたら、すぐに医師に相談する しこりなど変化に気付いたら、大丈夫だろうと自己判断せず、専門医の診断をうけましょう。
- 4. 40 歳になったら、2 年に1回は乳がん検診をうける

自治体の、がん検診を利用するのがお勧めです。

また、「2年に1回は人間ドックに行き、オプションで乳がん検診を追加する。」と決め、生活習慣化するというのはいかがでしょうか。

参考文献

- 1) 国立がん研究センター がん情報サービス がん統計 乳房 2022.10.5 https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/stat/cancer/14_breast.html
- 2) 国立がん研究センター がん情報サービス 乳がん 予防・検診 2023.7.5 https://ganjoho.jp/public/cancer/breast/prevention_screening.html
- 3) 日本乳がん学会 ブレスト・アウェアネス https://www.jbcs.gr.jp/uploads/files/citizens/breastawareness_pamph.pdf



文責 高木佐千子 (学生支援課 保健室)